

2024年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

外国語試験 日本語

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受験記号番号

成績	
----	--

2024年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

外国語試験 (日本語)

一、次の文章を読んで、後の問に答えよ。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

(市川浩『〈身〉の構造 身体論を超えて』〈講談社学術文庫〉による。58～61頁)

問一 傍線部(1)～(5)のカタカナは漢字に改め、漢字はその読みをひらがなで記せ。

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)

問二 二重傍線部(A)「刻一刻」とあるが、「刻一刻」ということばを用いて短文を作文せよ。

問三 二重傍線部(B)「居ても立ってもいられない」とほぼ同じ意味をもつ語を、本文中からひらがな七文字で抜き出せ。

問四 空欄にあてはまる最も適切な語を次の中から選び、○で囲め。

- ① 最適 ② 飢餓 ③ 悦楽 ④ 無心

問五 傍線部A「つまり 身体は文化を内蔵するのです。」とあるが、身体が文化を内蔵するとはどういうことか。「統合」ということばを用いて、本文に即して説明せよ。

問六 傍線部 B 「これが惰性的・創造的な習慣的身体の逆説です。」とあるが、惰性的でありながら創造的であると言えるのはなぜか。「逆説」ということばの意味内容に注意しながら、本文に即して説明せよ。

二、問一～二に答えよ。

問一 次の文中の空欄①～⑩に当てはまる平仮名一文字を入れよ。答えは文中の（ ）内に直接記入せよ。

著作権の都合上、
この部分をご覧いただけません。

〔芥川也寸志『音楽の基礎』〔岩波新書〕による。1～2頁〕

問一 次の文中の空欄①～⑩に当てはまる日本語表現を直接記入せよ。なお、二箇所ある③には同じものが入る。

著作権の都合上、
この部分をご覧いただけません。

三、次の文章を読んで、全体の要旨を二〇〇字以内で記せ。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

